

2025年1月27日

BYD Auto Japan 株式会社

BYD、初の乗用車・商用車部門合同の事業方針発表会を開催 PHEVの日本導入およびEVトラック事業への参入を発表

- 乗用車部門：PHEVの日本導入を発表。2027年までにBEV含め7~8モデル体制を構築
- 乗用車部門：BEV+PHEVの両輪で日本のeモビリティ社会の発展に貢献
- 商用車部門：2030年までに累計4,000台のEVバス販売。2026年以降順次EVトラックを展開

BYDの日本法人であるビーワイディージャパン株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：劉学亮、以下：BYDジャパン）とBYD Auto Japan株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：東福寺厚樹、略称：BAJ）は、2025年1月24日（金）シティーサーキット東京ベイにて、「BYD事業方針発表会2025」を開催いたしました。当日は、BYDジャパン代表取締役社長の劉学亮と執行役員副社長石井澄人、BAJ代表取締役社長東福寺厚樹が登場し、BYDとしての日本での20年の歴史を振り返るとともに、今後の乗用車、商用車の各部門における中期経営方針を発表しました。



初公開となるEVバス「J7」から登場。「EVトラックの日本導入」「PHEVの日本導入」、を発表

今回の発表会は、劉、石井、東福寺の3名が、初公開となる中型EVバス「J7」に乗車して登場するシーンからスタート。2025年内に納車が始まる「J7」からの登場に、会場は拍手に包まれました。

BYDジャパン代表取締役社長の劉のプレゼンテーションでは、BYDジャパン創立20年、EVバス日本導入10年、乗用車日本上陸3年となる節目のイベント開催に感謝と喜びを示し、日本のお客様、パ

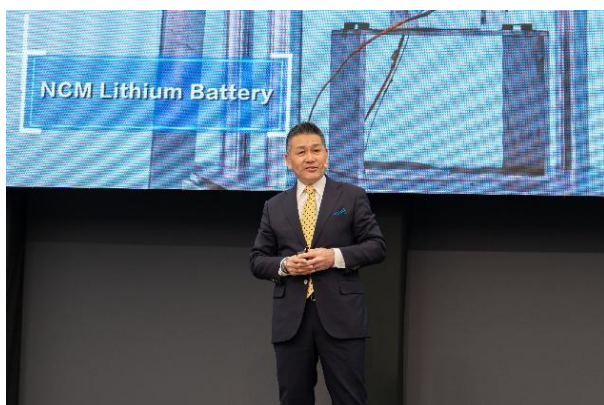
ートナー企業様、メディアの皆様のおかげで、創立 20 年を迎えられたことに対する感謝の気持ちを述べました。

また、BYD が 30 年前に中国の深センで、二次電池の研究開発を始めてからの歴史や、日本上陸後の 20 年を振り返り、EV バスの日本での展開や、乗用車事業での今後の期待感について語りました。そしてプレゼンテーションの終盤には、BYD の日本市場における今後の展開として商用車部門では「EVトラックの日本導入」、乗用車部門では「PHEV の日本導入」を発表しました。



今後の 20 年に向けた商用車事業の方針を発表。2030 年までに累計 4,000 台の EV バスを販売

続いて登壇した BYD 商用車部門の執行役員 副社長 石井 澄人からは、世界各地で人々の生活に欠かせない社会インフラとして活躍する BYD の商用車について説明。日本では EV バスのシェア 7 割超、350 台を誇るこれまでの納入実績や、BYD のコアテクノロジーであるリン酸鉄リチウムイオン電池が培ってきた「信用」と「実績」について説明。今回の発表会で初披露となった日本専用設計の「J7」についても、日本で求められる中型路線バスの車幅（2.3m）に準拠して開発された車両であることに加え、最新のインホイールモーター方式を採用した専用の e アクセルを搭載している点をアピール。価格は 36,500,000 円（税込・全国メーカー希望小売価格）と発表しました。さらに「2030 年までに累計 4,000 台の EV バスを販売する」という中期目標を発表。これへの達成に向けたサービス・サポート体制の拡充についての方針を示しました。さらに、2026 年以降の日本導入を発表した EVトラックとの“両輪”で、運輸部門の e モビリティ化の実現を目指すことを宣言しました。



「創業期」から「成長期」へ。PHEVを含めラインナップ数を拡大

発表会のラストは、BAJ 代表取締役社長 東福寺 厚樹が登壇し、乗用車事業についてのプレゼンテーションを行いました。前年比5割増しとなった日本での販売実績や、昨年発売し、BYDのイメージチェンジャーになったBYD SEALについてあらためて紹介するとともに、日本導入4車種目となるBYD SEALION 7については、「多くのお客様にご満足いただける商品に仕上がっている」と自信を見せました。

また、毎年1モデル以上の車種の導入を表明しているBYDは、今後は待望のPHEVを含め、2027年ごろまでに7~8ラインナップを提供していく中期方針も発表。グローバルでもBYDの成長を支えるPHEVの導入によって、先進的なBEVと革新的なPHEVの“両輪”で、日本のeモビリティ社会の更なる発展への貢献を宣言しました。



イベントの様子



サーキットでのJ7、BYD SEALION 7の走行デモンストレーション



日本導入モデルオールラインナップ

【BYD Auto Japan 株式会社について】

BYD の日本法人 ビーワイディージャパン株式会社の 100%出資子会社として設立した BYD Auto Japan は、日本での BYD 製乗用車の販売およびサービスを専業に行う会社です。

社名	BYD Auto Japan 株式会社（英名：BYD Auto Japan Inc.）
本社所在地	神奈川県横浜市神奈川区金港町1番地7 横浜ダイヤビルディング 19F
事業内容	BYD 製乗用車の販売、アフターセールスおよびその他関連業務
代表取締役社長	東福寺 厚樹

【BYD グループとは】

BYD グループは、中国・深圳に本社を置くグローバル企業であり、環境に優しい世界を追求するためのイノベーションを提供しています。1995年にバッテリーメーカーとして創業したBYDは現在、IT、エレクトロニクス、自動車、新エネルギー、都市モビリティといった多様な領域で事業を展開しています。特に自動車分野では、現在6大陸、90以上の国と地域、400以上の都市で電気自動車を展開しており、独自の技術で開発したブレードバッテリーや e-Platform 3.0 といった最先端のテクノロジーを強みにしています。また、世界的に高まりつつある EV シフトに先駆け、新エネルギー車（EV、PHEVを含む）の生産を積極的に進めたことで、世界でもトップランナーとしての躍進を始めています。

※本リリースの掲載内容は画像を含め、2025年1月27日（月）現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

製品に関するお問い合わせ：

BYD Auto Japan 株式会社 お問い合わせフォーム：<https://byd.co.jp/contact/>